

# nms ホールディングス株式会社

## 2019年3月期 第3四半期累計決算概要

(JASDAQ 2162)

### ● 売上高

EMS事業における工作機械関連や海外白物家電関連の需要減があったものの、これまで端境期にあったパワーサプライ事業（PS事業）が主軸の電源関連製品において新規受注及びその量産立ち上げがあったことに加え、人材ソリューション事業（HS事業）も国内人材ビジネスを中心に堅調に推移し、前年同期比で増収

### ● 営業利益

HS事業における外国人技能実習生関連受託業務や物流3PL受託・テクニカル流通加工事業会社設立に伴う先行投資コストの発生に加え、技術者派遣事業会社（neoテクノロジー株式会社）を、当第3四半期連結会計期間から連結化したことによる同社立ち上げコストの反映や、EMS事業、PS事業における中国の景気減速による受注減及び部材価格高騰等による利益圧迫要因もあり、前年同期比で減益

### ● 四半期純利益

固定資産売却益や投資有価証券売却益等による特別利益（156百万円）を計上したものの、事業構造改革費用の計上や営業利益減の影響があり減益

【2019年3月期 第3四半期累計実績】

売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
42,269 百万円	300 百万円	312 百万円	211 百万円

# 1. 第3四半期累計期間（9ヶ月累計）業績ハイライト

(単位：百万円)	2018年3月期 第3四半期 累計期間 実績 (9ヶ月累計)	2019年3月期 第3四半期累計期間（9ヶ月累計）		
		実績	前年同期比	主なポイント
売上高	40,728	42,269	+3.8%	【売上高】 HS事業、PS事業が堅調に推移
営業利益	980	300	△69.3%	【営業利益】 先行投資コストや部材価格高騰等の利益圧迫要因あり減益
経常利益	1,113	312	△71.9%	【経常利益】 営業外収益 404百万円 (前年同期比 66百万円増) 営業外費用 391百万円 (前年同期比 187百万円増)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	924	211	△77.2%	【特別利益】 投資有価証券売却益 38百万円 固定資産売却益 10百万円 為替換算調整勘定取崩益 91百万円  【特別損失】 事業構造改革費用 47百万円

## 2. セグメント別業績ハイライト

(単位：百万円)		2018年3月期 第3四半期 累計期間 実績 (9ヶ月累計)	2019年3月期 第3四半期第3四半期累計期間 (9ヶ月累計)		
			実績	前年同期比	主なポイント
HS事業	売上高	12,630	14,239	+12.7%	国内需要は堅調に推移、ロジスティクス関連新会社や外国人技能実習生向け研修事業会社等の先行投資コストが利益圧迫要因となったが、需要は堅調
	セグメント利益	433	114	△73.6%	
EMS事業	売上高	19,949	19,051	△4.5%	工作機械関連や海外白物家電における需要減速に加え、ベトナム生産拠点設立等によるコスト計上もあり減益となったが、来期以降に向けた施策を実行
	セグメント利益	543	320	△40.9%	
PS事業	売上高	8,148	8,978	+10.2%	部材価格高騰の影響により減益となったが、需要端境期を脱し新規受注の寄与もあり売上回復 電池パックの出荷・納入も開始
	セグメント利益	325	262	△19.4%	
調整額	セグメント利益	△322	△397	—	当社（持株会社）に係る全社費用 * 持株会社化に伴い、当費用は各セグメントに配分せず「調整額」に区分
合計	売上高	40,728	42,269	+3.8%	
	セグメント利益	980	300	△69.3%	

\* HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業

## 売上高

14,239百万円

前年同期比 12.7%増

## セグメント利益

114百万円

前年同期比 73.6%減

【事業母体】

日本マニファクチャリング  
サービスグループ



国内

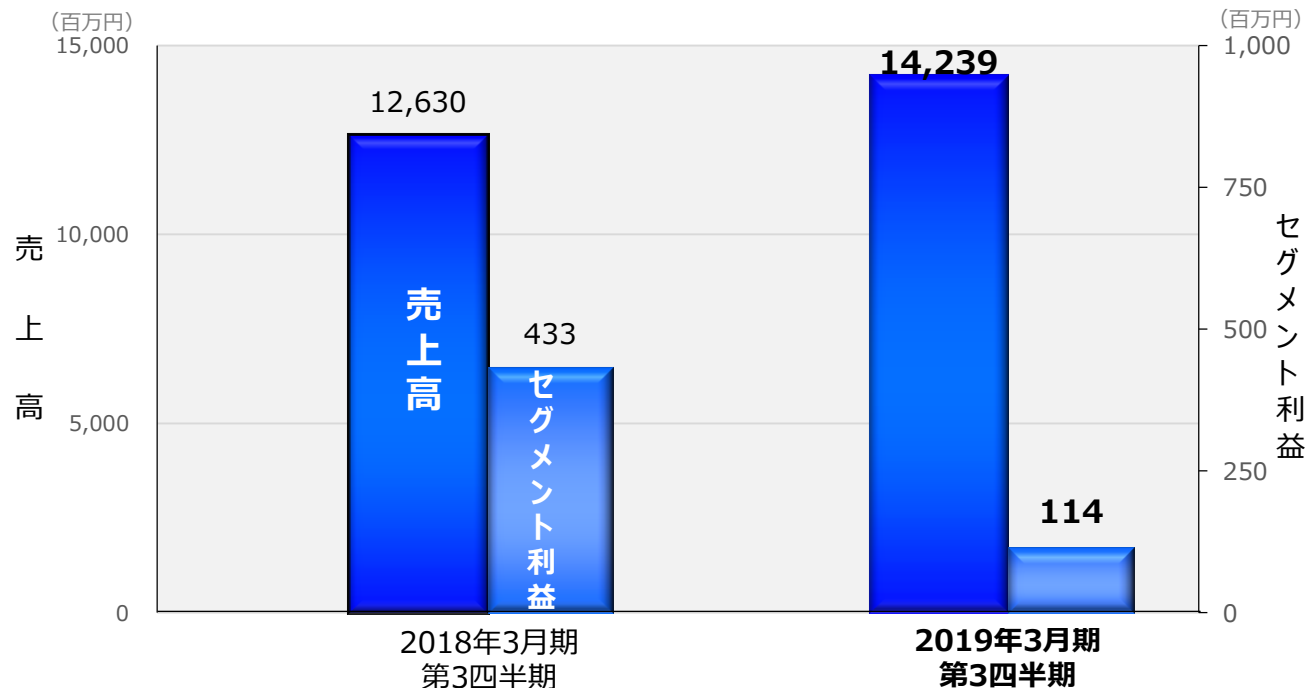
製造派遣・製造請負事業においては、正社員化や外国人技能実習生の活用などにより、採用力強化と定着率向上を図り、需要は堅調に推移



海外

中国での市場環境変化、人件費高騰等が継続したが、海外現地における製造請負を展開、ベトナム・タイにおいては、グループ内EMS事業ノウハウを組み合わせ、省力化導入提案など新たなサービスも推進し収益性向上を図る

外国人技能実習生関連受託業務や、物流3PL受託・テクニカル流通加工事業会社設立による、先行投資コストに加え、技術者派遣事業会社の連結化による立ち上げコストの反映などが利益圧迫要因となったが、成長戦略の一環であり、早期の成果刈り取りを進め、収益性向上を図る



## 売上高

19,051百万円

前年同期比 4.5%減

## セグメント利益

320百万円

前年同期比 40.9%減

### 【事業母体】

- ・志摩電子工業グループ
- ・TKRグループ



国内

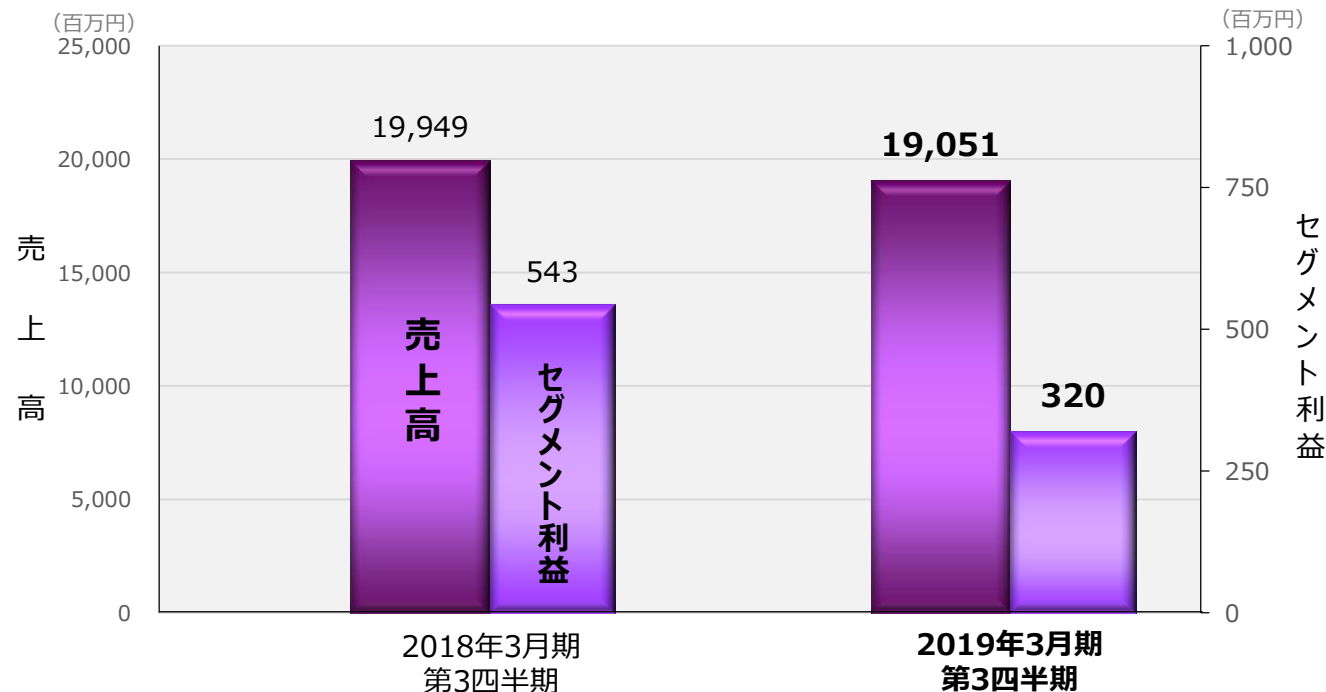
第2四半期に入り、工作機械関連の需要が減速したが、既存製品を中心に概ね堅調に推移



海外

マレーシアにおいては白物家電関連の需要減速があったものの、中国における需要は堅調に推移

株式会社テーケアール（TKR）は、2019年4月からベトナム拠点を立ち上げるとともに、2018年12月19日公表のとおり、ソニー株式会社からの事業譲受により、北米・メキシコへの進出も行う予定であり、さらなる事業規模の拡大をめざす



全体

- ・既存製品の需要調整や、新規分野への製品投入までの端境期を脱し、新規受注の量産化が順次スタート、サンプル品出荷増もあり売上回復
- ・これまで培ってきた電源技術を活かし「電池マネジメントシステム事業」を始動、リチウムイオン二次電池パックの受注引き合いが好調に推移
- ・その開発・製造拠点として2018年1月11日に「松阪工場」（三重県）を開設、2018年9月に生産を立ち上げ、10月より納入開始

電池パックの応用分野が広がっており、「基盤強化」と「新製品開発・製造・拡販」の両輪で売上・利益の拡大をめざす

## 売上高

# 8,978百万円

前年同期比 10.2%増

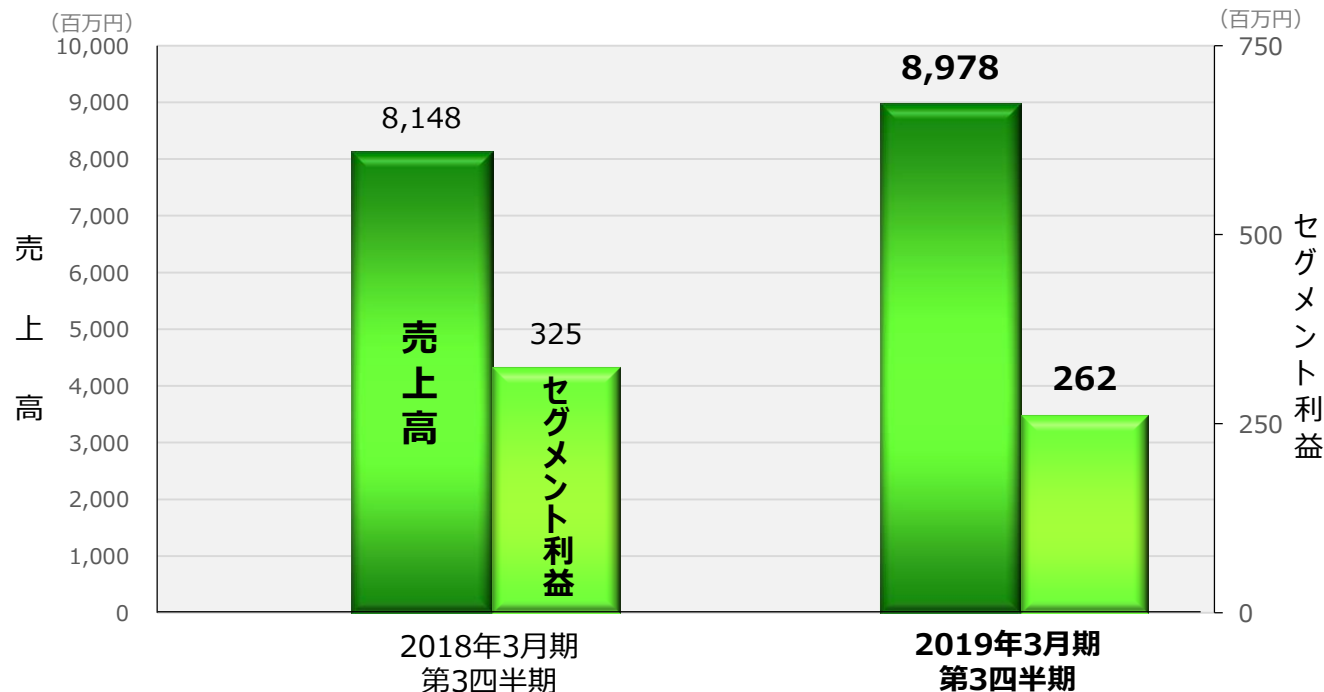
## セグメント利益

# 262百万円

前年同期比 19.4%減

【事業母体】

パワーサプライテクノロジー株式会社



### 3. 業績ハイライト (B/S)

(単位：百万円)	2018年3月期 (2018.3.31)	2019年3月期 第3四半期 (2018.12.31)	増減	主なポイント
流動資産	20,434	<b>21,808</b>	+1,373	現預金 △92 売掛 +500 在庫 +766
固定資産	6,061	<b>7,356</b>	+1,294	
有形固定資産	4,505	<b>5,660</b>	+1,155	PS事業/松阪工場取得 により増加
無形固定資産	503	<b>539</b>	+36	
投資その他の資産	1,053	<b>1,155</b>	+102	
<b>資産合計</b>	26,496	<b>29,164</b>	+2,667	
<b>負債合計</b>	20,345	<b>23,540</b>	+3,194	
流動負債	13,584	<b>16,220</b>	+2,636	【借入金残高】 18/12末 14,425 18/3末 10,636
固定負債	6,761	<b>7,320</b>	+558	
<b>純資産合計</b>	6,150	<b>5,623</b>	△526	
<b>負債・純資産合計</b>	26,496	<b>29,164</b>	+2,667	

## 4. 2019年3月期 通期業績予想の修正

業績の動向等を踏まえ、2018年5月14日公表の2019年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正する

(単位：百万円)	2018年3月期 実績 (前期)	2019年3月期		
		前回発表予想	今回発表予想	前回発表予想 対比
売上高	54,172	<b>61,000</b>	<b>57,500</b>	△5.7%
営業利益	1,292	<b>1,300</b>	<b>520</b>	△60.0%
経常利益	1,506	<b>1,550</b>	<b>510</b>	△67.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,188	<b>1,100</b>	<b>430</b>	△60.9%



## 「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。

これが私たちnmsグループのキーワードです。

3つの事業を組み合わせ、人材ソリューションから、効率生産を実現するEMS（製造受託）、さまざまな機器類の「安全・安心」を確保する電源製品の開発・製造・販売までお客様の多種多様なニーズにお応えします。

# HS

### ヒューマンソリューション事業

製品、製造プロセス、生産現場を  
知り尽くした人材が  
日本やアジア各地域で活躍

**事業主体**

日本マニュファクチャリングサービス

# EMS

### エレクトロニクス マニュファクチャリングサービス事業

お客様の競争力強化に貢献する  
トータルソリューションを実現

**事業主体**

志摩電子工業  
テークイアール

# PS

### パワーサプライ事業

電源専門メーカーの技術力で  
ワンランク上のソリューションを提供

**事業主体**

パワーサプライテクノロジー



主な連結子会社 ( ( ) 内は各社決算期)	進出国・地域	主な事業内容
<b>ヒューマンソリューション事業 (HS事業)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本マニュファクチャリングサービス株式会社 (3月)</li> <li>・株式会社日本技能教育機構 (3月)</li> <li>・nms ロジスティクス&amp;テクニカルソリューション株式会社 (3月)</li> <li>・北京中基衆合国際技術服務有限公司 (12月)</li> <li>・NMS VIETNAM CO.,LTD. (12月)</li> <li>・nms (Thailand) Co.,Ltd. (12月)</li> </ul>	日本 中国 ベトナム タイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造派遣／製造請負</li> <li>・エンジニア派遣・エンジニアリング受託</li> <li>・テクニカルサービス受託 (各種リペア・リワーク・解析等)</li> <li>・物流3PL受託、テクニカル流通加工</li> </ul>
<b>エレクトロニクス・マニュファクチャリング・サービス (EMS事業)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社志摩電子工業 (12月)</li> <li>・株式会社テーケアール (12月)</li> </ul>	日本 香港 (中国) マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子機器製造受託サービス (基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立 等)</li> <li>・省力化機器製造・販売</li> </ul>
<b>パワーサプライ事業 (PS事業)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーサプライテクノロジー株式会社 (12月)</li> <li>・株式会社テーケアール (12月)</li> </ul>	日本 香港 (中国)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カスタム電源 (低圧電源、高圧電源) の開発・設計・製造・販売</li> <li>・マグネットロールの開発・設計・製造・販売</li> <li>・各種トランス (スイッチングトランス、高圧トランス) 開発・設計・製造・販売</li> <li>・電池マネジメントシステム関連製品の開発・設計・製造・販売</li> </ul>

## nms ホールディングス株式会社

<http://www.n-ms.co.jp/>

商号	nms ホールディングス株式会社
本社所在地	〒163-1445 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー45階
代表者	代表取締役社長 小野 文明
資本金	5億69万円（2018年12月31日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（JASDAQ市場） 証券コード 2162
事業内容	ヒューマンソリューション（HS）事業 エレクトロニクスマニファクチャリングサービス（EMS）事業 パワーサプライ（PS）事業 におけるグループ事業統括および経営管理等
主な連結子会社	日本マニファクチャリングサービス株式会社 株式会社志摩電子工業 株式会社テーキアール パワーサプライテクノロジー株式会社

本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ  
nms ホールディングス株式会社  
広報・IR部 Tel:03-5333-1737

